

人権啓発〔ビデオ〕

『そっとしておけば…』

シリーズ

教材・カリキュラム
紹介

生まれたばかりの赤ちゃんは、
部落差別の存在を知らず差別する
ことありません。

「そっとしておけば、自然と差別はなくなる」という意見に思わずうなずいてしまいそうになりますが、そこに重大な落とし穴が…

寝た子を 起こすな という考え方



★学歴や性教育のこと…



★在日韓国・朝鮮人のこと…



★お弁当を隠して食べたこと…

ドラマ部 ストーリー



★どうしても、話せないこと…



★日本名で働いていること…



★部落差別のこと…

「寝た子を起こすな」論は部落差別の解決にとって、古くて新しい課題です。

このビデオは、参加者が考えること、話し合うことを大切にしたい人権研修やワークショップでの活用に最適な教材です。

〈活用の一例〉

- ① 参加者がビデオの前半の問題提起部分を見た後、「寝た子を起こすな」ということについてロールプレイします。例えば、住んでいる場所や生き立ちについて、人には話したくないという前提をつくり、詳しく聞いてくる相手役に対してどうふるまうかを参加者が演じます。ロールプレイを通して、自らの体験や差別意識の芽生え、そして「隠して生きる」とはどんなことなのかを感じ、隣り合った参加者と話し合ってもらいます。
- ② その後、ビデオの後半の解説部分を上映。「寝た子を起こすな」という考え方の問題点、差別をなくすための道筋について参加者全員で考えることのできる教材です。

〈ビデオの概要〉 VHS 36分

- ・第1部 ドラマ構成による問題提起（約26分）
- ・第2部 CGと資料を使った解説（約10分）